



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> mail@ken-nonoyama.com

No.493 2018.10.3

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

北区議会第3回定例会 決算特別委員会

暮らし支える区政に

決算特別委員会は、9月20日から10月2日までに、7日間にわたって開かれ、2017年度一般会計および4特別会計の認定について審査しました。この中で私は、区政と区民生活にかかわる幅広いテーマを取り上げ、質疑をおこないました。その中から、一部を紹介します。(のの山けん)



保育の質 向上・確保を



この間北区は、待機児解消に向け、年間数百名を超える保育所定員を増やしてきました。同時に求められるのは保育の質。私は、愛知県保育士労働実態調査の結果も示し、「労働法に基づき保育士の働き方を正すだけで大幅な賃金引き上げとなる」と提起。あわせて「北区保育の質ガイドライン」の制定を求めました。

荒川氾濫に 備えた対策を



荒川堤防が決壊すれば、北区の半分以上が水没する大災害に。荒川氾濫に備えた水害対策を求めました。また、北区ハザードマップが氾濫の前提としているのは、72時間総雨量が632mmを超える流域での雨ですが、都心での観測史上最高の雨量は、2014年10月、世田谷での313mmと確認しました。

全覆い仮設 テント使用を



東京二十三区清掃一部事務組合は、北清掃工場の解体工事で全覆い仮設テントを使用しないとしています。私は、テントをかけない場合、住民にどんな被害が及ぶかを質しましたが、区は「比較資料がなくわからない」などと答弁。清掃一部事務組合には、最後までテントの使用を強く求めていくよう、区に要請しました。

介護保険料 引き下げを



今年度から第7期事業計画に入った介護保険制度。第1号被保険者の保険料基準年額は7万3380円となり、第4期(09～11年)の時と比べると、約3万2000円もの引き上げとなっています。区民アンケートでの「なぜ毎月こんなに高額な負担をしなければならないのか」という声も紹介し、引き下げを求めました。

北区議会第3回定例会 決算特別委員会の質疑から

重度心身障害者向けグループホームの増設を

滝野川3丁目に予定されている障害者グループホーム。障がい者団体からは、重度心身障害者に向けた整備への強い要望が出されていますが、定員12名のうち、重度は2名にとどまりました。

質疑では、滝野川3丁目の施設のほかにも、重度心身障害者向けグループホームの整備を促進するため、保護者らの意見にしっかり耳を傾けるよう要望。障害福祉課長は「家族会との相談を、早期に行ないたい」と答弁しました。



宇都宮 章
議員

施設に付属する街灯の管理体制改善・強化を

赤羽駅南口自転車駐車場に付属する街灯が腐食し、倒壊の危険にあったことが通行人の通報で発覚。駐輪場を管理するシルバー人材センターの職員に尋ねても、管理責任者が誰なのか分かりませんでした。

質疑では施設管理課長から、「管理は指定管理者であるシルバー人材センターに任せている。改めて安全点検についての責任を徹底し、今後は全ての街灯に番号をふり把握するようにする」との答弁を引き出しました。



ながいともこ
議員

「新たなにぎわいの拠点」から既存商店街守れ

北区は、十条駅西口再開発ビル低層階に整備される商業施設を「新たなにぎわいの拠点」と呼び、「来街者が増えれば周辺の商店街にもにぎわいが波及する」などとしていますが、党区議団が視察した高松丸亀町商店街や赤羽駅構内商業施設の例からも、新しい商業施設ができれば既存商店街に大きな影響を与えることは必至です。

区は、店舗数の抑制や競合回避など、既存商店街との共存を図るための調整に乗り出すべきです。



野口 まさと
議員



災害に備えて

北区消防団点検

9月23日、中央公園で、王子・赤羽・滝野川の3消防団合同の北区消防団点検が行われました。来賓や関係者、地元住民らが見守る中、消防団員による消防操法の披露や、救助、応急救護、初期消火、避難路確保（写真）などの災害活動のデモンストレーションが行われました。（のの山けん）